

抗インフルエンザ薬の使用状況

処方患者の推計（企業提出資料による）

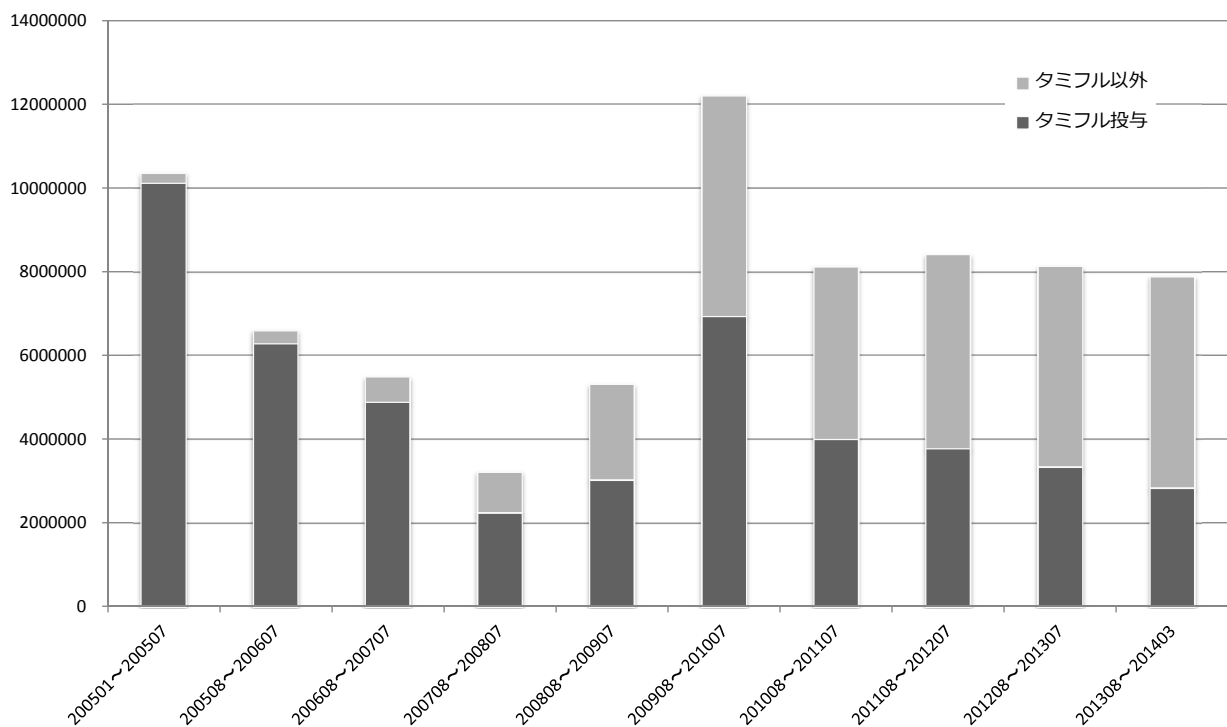
| 一般名 | 推定使用患者数（推定期間） | | ページ |
|-----------------------------|---|------------|-----|
| | 〔出典〕 | | |
| 販売名（製造販売業者） | うち 0～9 歳 | うち 10～19 歳 | |
| オセルタミビルリン酸塩 | 約 285 万人（2013 年 8 月～2014 年 3 月） 〔日本医療データセンター〕 | | 1 |
| タミフルカプセル、同ドライシロップ （中外製薬） | 約 129 万人 | 約 13 万人 | |
| ザナミビル水和物 | 約 146 万人（2013 年 10 月～2014 年 4 月） 〔日本医療データセンター〕 | | 4 |
| リレンザ（グラクソ・スミスクライン） | 約 25 万人 | 約 69 万人 | |
| ペラミビル水和物 | 約 24 万人（2013 年 10 月～2014 年 4 月） 〔JammNet〕 | | 5 |
| ラピアクタ点滴静注液（塩野義製薬） | 約 2 万人 | 約 3 万人 | |
| ラニナミビルオクタン酸エステル | 約 331 万人（2013 年 10 月～2014 年 3 月） 〔日本医療データベース〕 | | 6 |
| イナビル吸入粉末剤（第一三共） | 約 33 万人 | 約 91 万人 | |

タミフル推定処方患者

株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

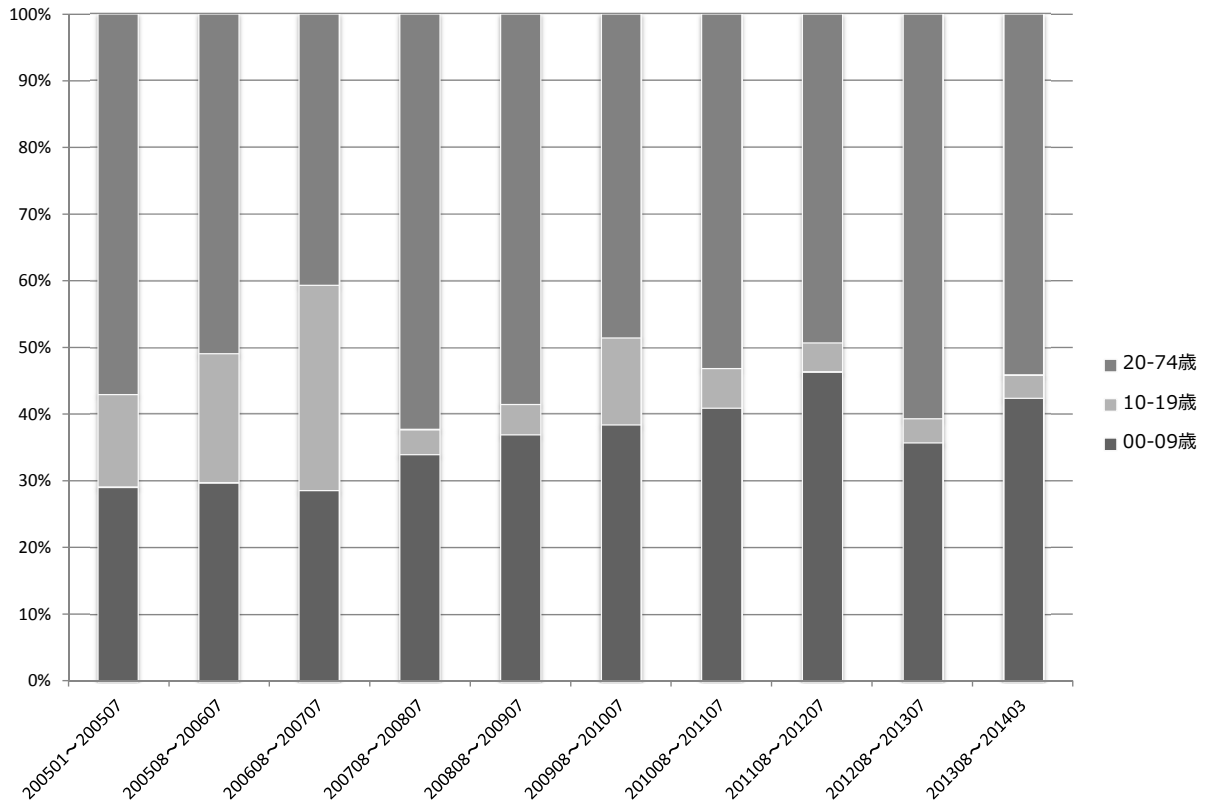
中外製薬株式会社2014年9月

年別抗インフルエンザ薬処方患者数



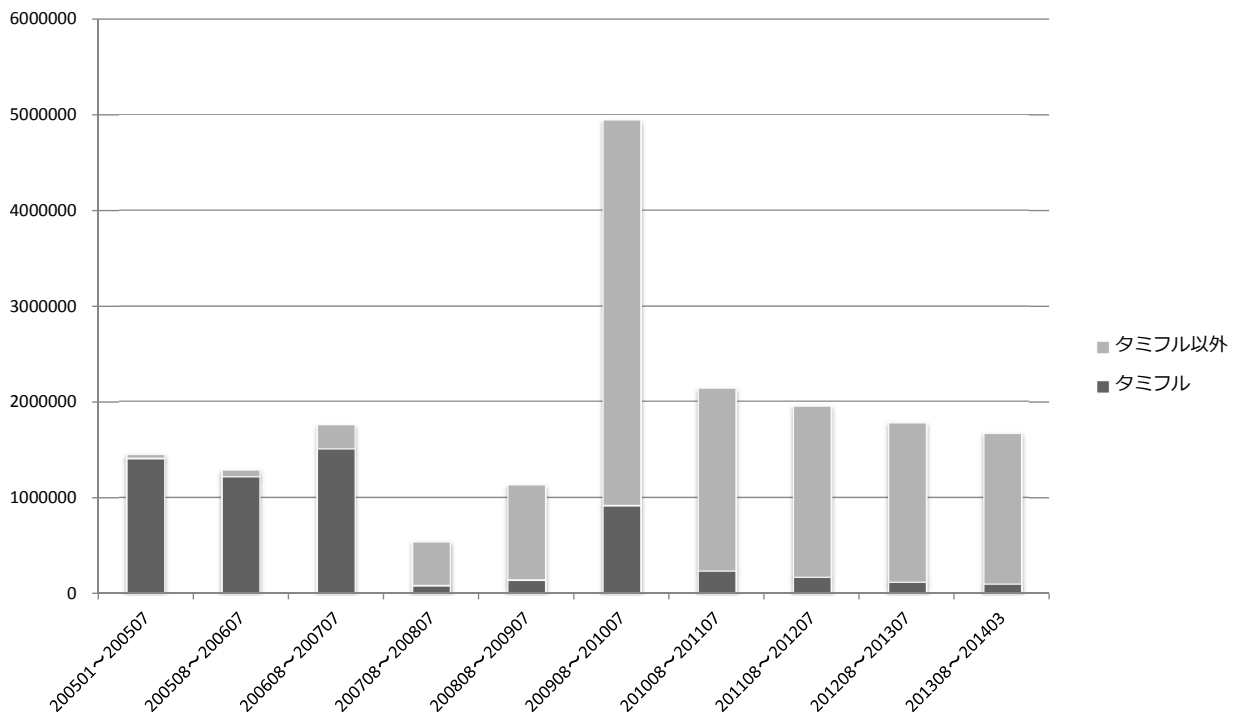
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

年別年代別タミフル処方患者数



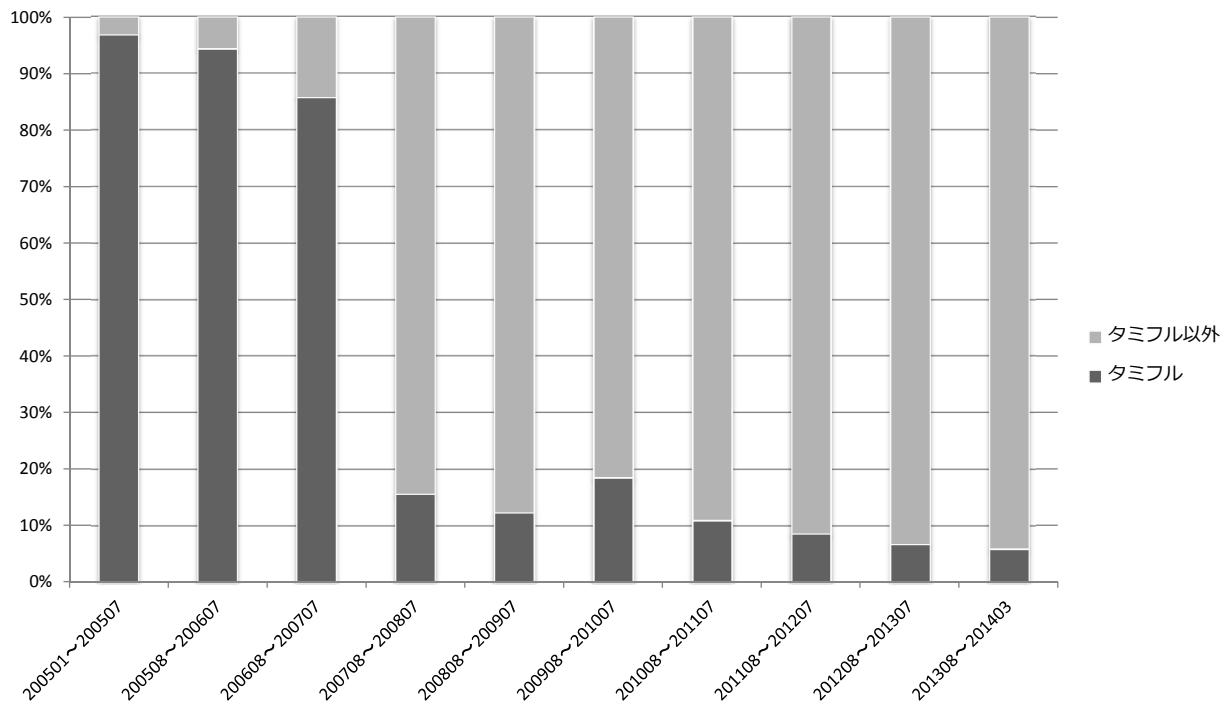
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

10歳代での抗インフルエンザ薬処方推定患者数



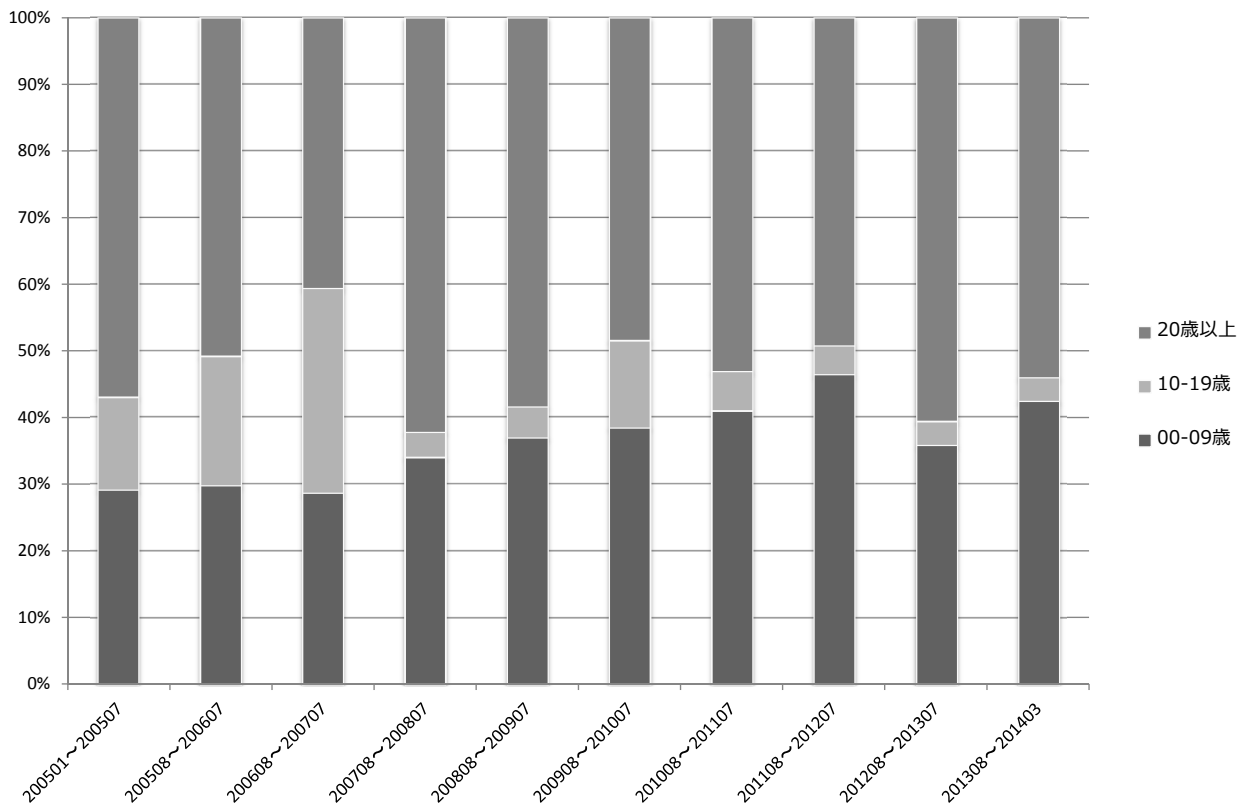
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

10歳代での抗インフルエンザ薬処方状況

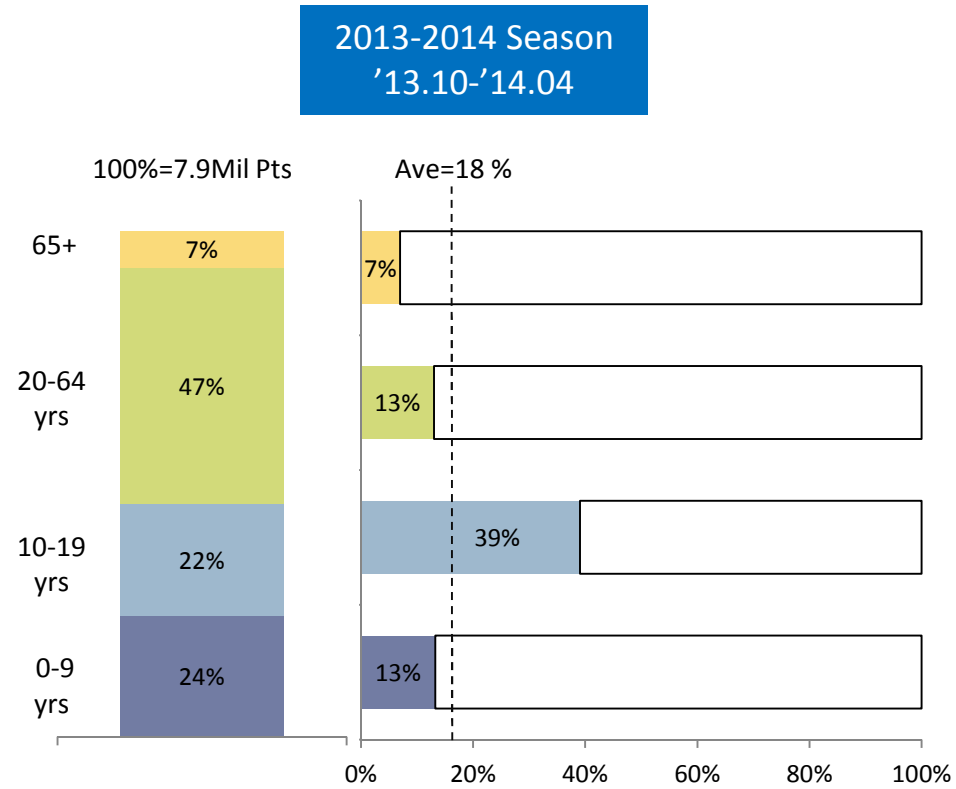


株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

年別タミフル処方比率

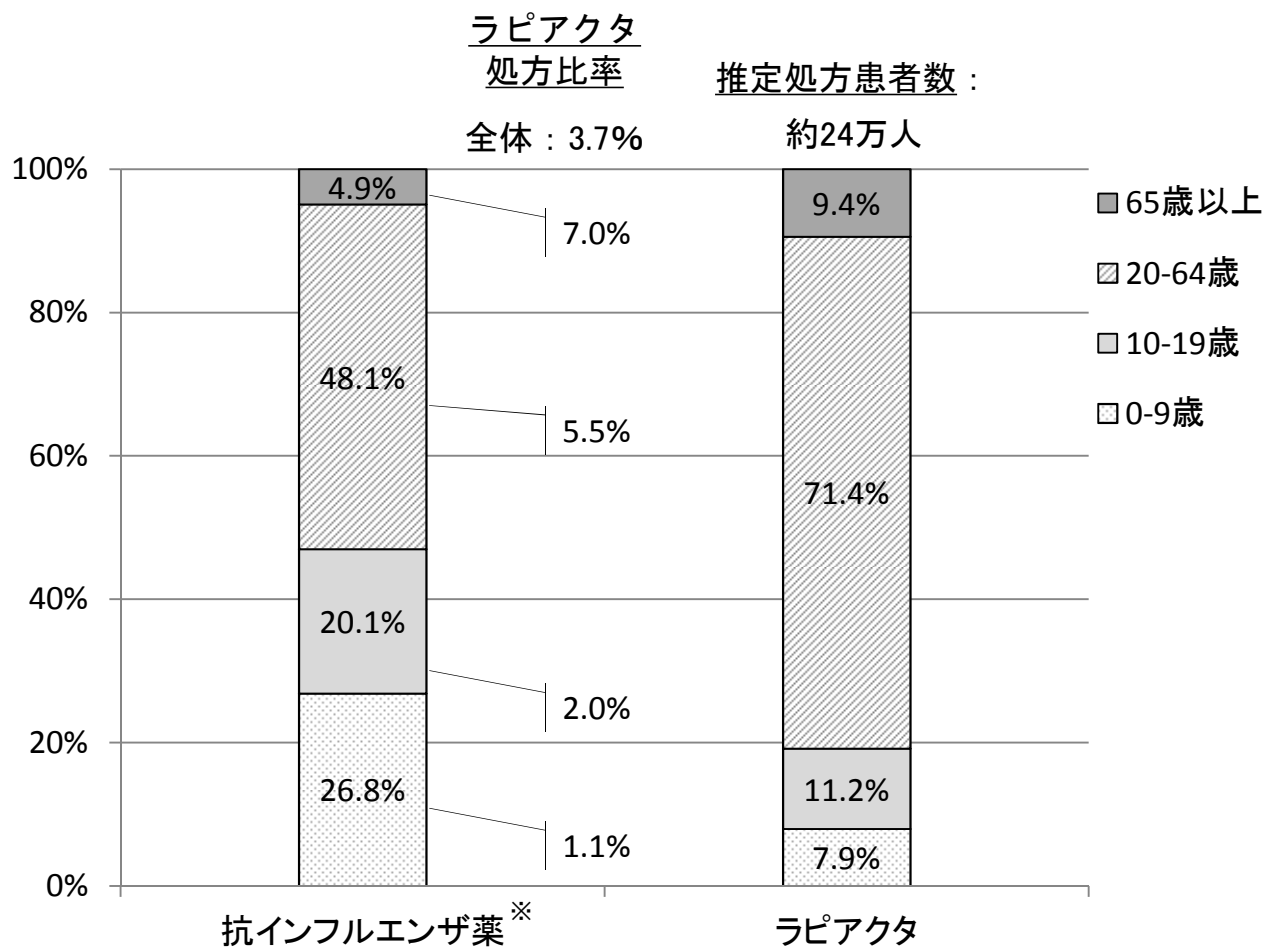


患者年齢区分別抗インフルエンザ薬処方状況とリレンザのシェア(推定)

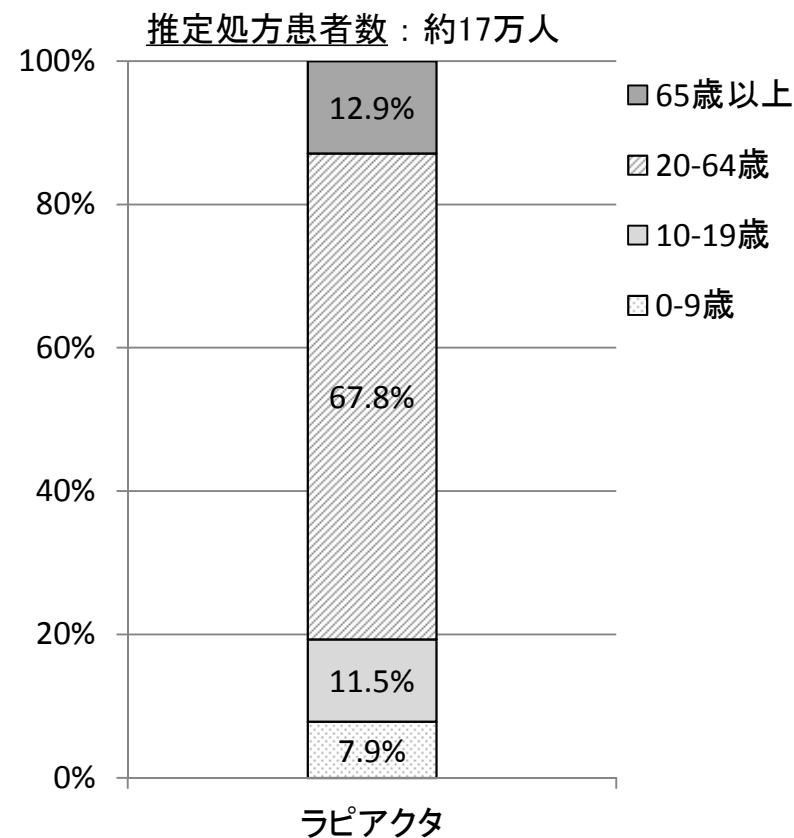


患者年齢区分別抗インフルエンザウイルス薬処方状況及びラピアクタシェア(推定)

<2013/14シーズン:2013年10月～2014年4月>



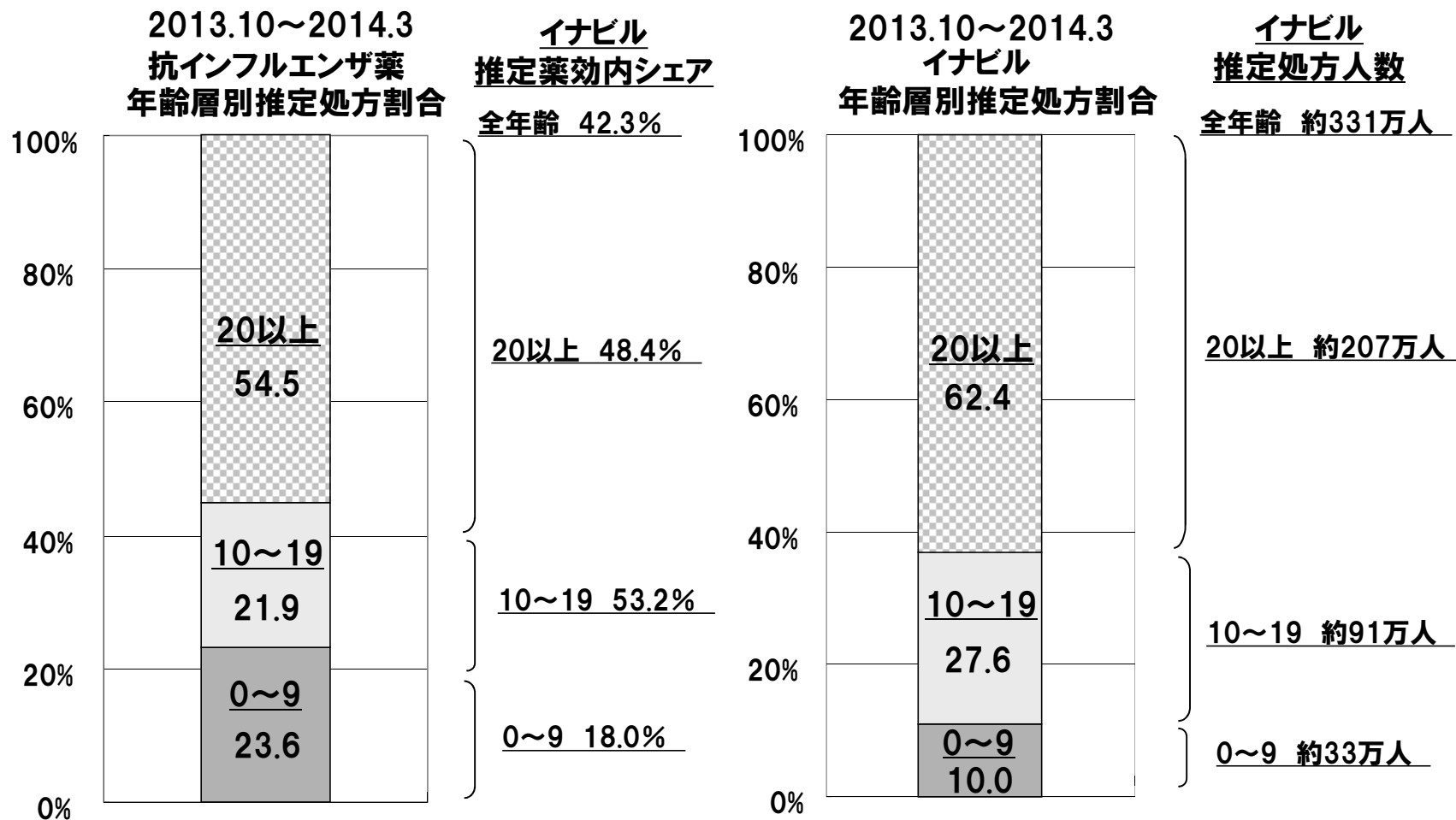
(参考) 昨シーズン (2012年10月～2013年4月)
ラピアクタ推定処方患者数・年代別比率



※ 抗インフルエンザ薬：タミフル，リレンザ，ラピアクタ，イナビル

出典：JammNet（ジャムネット株式会社）のデータより，塩野義製薬株式会社が算出

抗インフルエンザウイルス薬の使用状況とイナビルの推定シェア 【2013年10月～2014年3月の年齢層別】



出典：JMDC((株)日本医療データセンター)のデータより、第一三共が推定